

▼エプジコム配合錠 [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】ラミブジン/アバカビル硫酸塩 lamivudine/abacavir sulfate 【分類】抗HIV薬

【単位】▼錠

【常用量】1回1錠

【用法】1日1回

【透析患者への投与方法】他剤を選択 (1,12)

【PD】避ける (12)

【CRRT】避ける (12)

【保存期CKD患者への投与方法】Cr 50mL/min未満では使用しない (1,12)

【特徴】逆転写酵素阻害剤の合剤。

【主な副作用・毒性】過敏症、皮疹、消化器症状、頭痛、肝機能異常、筋肉痛、発熱、浮腫、アナフィラキシーなど多数

【安全性に関する情報】アバカビルによる過敏症に注意 (1)

【F】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【OW係数】

【相互作用】ST合剤によりラミブジンの血中濃度上昇 (1) アバカビルはアルコールデヒドロゲナーゼの代謝基質としてエタノールと競合 (1) メサドンのCL上昇 (1)

【備考】データはラミブジン、アバカビルそれぞれを参照のこと

【更新日】20190311

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。